

都市の防災機能の強化に貢献したい

No.12

国土交通省

補助金等

(開始年度) 平成27年度

支援の名称	サステナブル建築物等先導事業
制度の 趣旨・背景	住宅及び建築物の省エネ・省 CO2 や木造化、気候風土に応じた住宅の建築技術等による低炭素化等に係る先導的な技術の普及啓発に寄与するリーディング・プロジェクトに対し支援します。
制度の 内容	<p>住宅及び建築物の省エネ・省 CO2 や木造化、気候風土に応じた住宅の建築技術等による低炭素化、健康・介護、災害時の継続性等に寄与する先導的な技術が導入されるプロジェクト等を募集し、学識経験者による評価委員会の評価を踏まえ、事業を採択します。</p> <p>■補助率</p> <ul style="list-style-type: none"> 先導的な省エネ・省 CO2 技術を導入する住宅・建築物プロジェクトに対する支援 (省 CO2 先導型)：補助率：1/2 (但し、5億円以内の額であって、かつ、新築のプロジェクトの建設工事費に係る補助額については総事業費の5%以内の額を上限) 先導的な木造化技術を導入する住宅・建築物プロジェクトに対する支援 (木造先導型)：補助率：1/2、定額 (但し、補助対象となる部分の建設工事費全体の15%又は5億円のうちいずれか少ない金額を上限とし、建築実証と居住性等の実験を担う実験棟の整備については3千万円を上限) 地域の気候風土に応じた住宅の建築技術等による先導的な低炭素化技術を導入するプロジェクトに対する支援 (気候風土適応型)：補助率：1/2 (但し、建築工事費全体の10%以内又は戸あたり100万円のうちいずれか少ない金額を上限) IoT 技術等を活用した住宅の実用化に向けた課題・効果等の実証を行うプロジェクトに対する支援 (次世代住宅型)：補助率：1/2 (但し、5億円を上限)
対象と なる方	<p>下記の取組みを行う民間事業者</p> <ol style="list-style-type: none"> 省 CO2 先導型：住宅・建築物の新築、既存の住宅・建築物の改修などにおいて、省 CO2 の推進に向けたモデル性、先導性が高いものとして選定された事業を行う者 木造先導型：建築物における木造化の推進に向けたモデル性、先導性が高いプロジェクトとして選定された事業を行う者 気候風土適応型：地域の気候風土に応じた住宅の新築において、建築技術・工夫による低炭素化技術導入推進に向けたモデル性、先導性が高いものとして選定された事業を行う者 次世代住宅型：IoT 技術等を活用した住宅の実用化に向けた課題・効果等の実証を行うプロジェクトであって、モデル性、先導性が高いものとして選定された事業を行う者
問い合わせ 先など	<p>国土交通省 住宅局 参事官 (建築企画担当) 付 TEL：03-5253-8111 内線 39-458 (省 CO2 先導型・気候風土適応型)</p> <p>国土交通省 住宅局 住宅生産課 内線 39-455 (木造先導型)、内線 39-426 (次世代住宅型)</p> <p>■関連 URL (サステナブル建築物等先導事業) http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_fr4_000053.html</p>